



# 園長便り



2020年11月30日発行  
セブンスデー・アドベンチスト石川教会付属 石川三育保育園

## 高潔さ

今年も残す行事はクリスマス会のみになりました。園では園児が一生懸命稽古をしています。大人顔負けの勢いでクリスマスキャロルや暗唱聖句に余念がありません。12月6日（日）のクリスマス会が楽しみです。しかし、例のごとく、今年はコロナ・ウィルス対策で観客席が制限されています。ご協力をお願いします。

さて今月は、高潔さについて、ご一緒に考えたいと思います。今回も色々教えられました。ご家庭で、社会生活で一条の光がさしたようです。じっくりお読みいただきたいと思います。

「1953年5月、英国探検隊は世界の最高峰であるエベレストに向かって、9度目の挑戦を試みしました。ジョン・ハント隊長たちは2人ずつ組んで進みましたが、トム・ボーディロンとパートナーのチャールズ・エヴァンズのペアは山頂までわずか100mまで来たところで、酸素ポンベの不調によりキャンプに引き返さざるを得ませんでした。しかしその時、道を作り装備を残してきたことが、エドモンド・ヒラリーとテンジン・ノルゲイを登頂成功に導いたのです。その年の6月2日、多くの人々が女王エリザベスⅡ世の戴冠式を祝っている真最中に飛び込んできたエベレスト制覇のニュースは、祝賀ムードをさらに盛り上げました。

この登頂について数年間は『チーム登頂』『2人同時に頂上に到達した』と報道されていました。ところがその後テンジンが、『エベレストには真実のみがふさわしい』と断ったうえで、頂上に最初に足を乗せたのはヒラリーであったと発表したのです。テンジン・ノルゲイのこの正直な発言は、彼の高潔さについて物語っています。

意外に思うかもしれませんが、実は高潔さも健康な生活に欠かせない要素です。それは健康的な生活習慣を実践するときの動機づけとなるからです。

高潔さと単純な正直さとの違いは見分けにくいかもしれませんが、高潔さとは生活の中で理論と実践を結びつけるものです。私たちの全ての行動を特徴づけるべきものは、透明性と信憑性なのです。言行不一致の場合は、高潔さに欠けるということになります。

ヤフーのインターネットサイトで高潔さと正直さの意味とその違いについて問いかけたところ、返ってきた回答の中に次のようなものがありました。

『正直とは、良し悪しを問わず自分がやったことについて真実を述べること。つまり嘘をつかないということ』『高潔とは、常に道徳的信念または倫理観にのっとり、自分の品格をおとしめるような行動をとらないこと』

辞書の定義ではないものの、これらの回答は人が自分の行動を決めるうえで、高潔さが果たす重要な役割をよく表現しています。正直さは悪を告白したり認めたりするかもしれませんが、行動を変えるには十分ではないでしょう。高潔さは正しいと信じる原則を徹底的に遵守することを意味します。

南アフリカ在住のまだ年若き弁護士マハトマ・ガンジーは、正義のために生涯を捧げる決心をし、高潔な意志が持つ力と影響力について自らの模範をもって人々に教えようとしていました。ジョージ・ルートヴィヒは次のような逸話を伝えています。

ある母親が自分の息子をガンジーのところに連れてきて、体のためにも生えてきた歯のためにも良くないので、砂糖を食べないように言い聞かせてください、と頼みました。しかし、ガンジーはこう答えました。『私にはそれはできないが、1ヶ月後にまたここへ連れて来なさい』

そう言ってそばを通り過ぎていくガンジーに母親は腹を立てました。彼女はこの偉大な指導者に自分の子育てを応援してくれるのを期待して、遠い道のりをはるばるやってきたのです。それでも仕方なく彼女は自宅に帰っていきました。1ヶ月後、彼女は何を期待すべきかもわからないまま、再びガンジーのもとに戻ってきました。

ガンジーは子どもの手を取ってその前に膝をつき、優しく話しかけました。『坊や、砂糖は食べちゃいけないよ。体によくないからね』。それからその子を抱きしめて母親に返しました。母親は喜びながらも当惑を隠しきれずに尋ねました。『なぜ1ヶ月前にその言葉を言うてくださらなかったのですか』。ガンジーは答えました。『それはね、1ヶ月前、私はまだ砂糖を食べていたからだよ』  
なんと説得力のある模範ではないでしょうか。そしてなんとという高潔な態度でしょうか。

## 高潔さと公衆衛生

高潔さは、個人だけでなく社会全体の健康にも影響を与えます。正しい信念と行動に忠実に従うことを求めるからです。

社会の健康を考えると、それについて人々が持つ価値観、道徳観、倫理観、信条などは、ほんのわずかであっても見過ごしてはなりません。2002年、公衆衛生を推奨する人々に求められる行動規範についてまとめた『公衆衛生のための倫理的行動の原則』が出版されました。この中に述べられた12の原則のうち、いくつかは焦点を当てて考えてみましょう。

これらの原則は、まず個人の健康状態について述べています。『人間は、健康維持に必要な資源を得る権利を持つ』

この考えは世界人権宣言の第25条を確認するものであり、私たちの生き方や健康の原則の実践にさまざまな側面から影響を及ぼします。さらに健康教育を行う際にその基礎となる考え方です。これは、私たちの倫理観にも大きな影響を与え、健康に関して社会として機能するために必要な高潔さの重要性を強調しています。

地域社会についての第二の原則はこれです。『人間は生まれつき社会性を持ち、相互依存的なものである』。さらにこう続けます。『人は自分のことを考え、自分で決断を下す権利を有するが、同時に1人ひとりの行動が他の人々にも影響するという事実を覚えて、双方のバランスをとる必要がある』

このような考え方を受け入れるなら、喫煙と予防接種などが公衆衛生上もたらす影響について、私たちがどう関わっていくのかという高潔さの問題になるのです。たとえば自分が予防接種を受けるかどうか

を決めるときに、地域社会の健康を守るという責任と比較して、自分たちの高潔さが試されることになるのです。最近発生した麻疹の大流行を例に取ってみましょう。この流行により多くの人々が苦しみ、その多くが亡くなりましたが、そこには宗教上の理由から、家族や子どもたちに予防接種を許さなかったある宗教団体の存在がありました。

この考え方はさらに、処方薬やアルコール、また娯楽として楽しむ薬物を含む薬品の販売に対しても疑問を投げかけています。

高潔な人は裏表がなく自分についてきちんと説明できるので、その人がどれほど信頼できる人物かがおのずとわかります。つまり信頼関係を築く上で、高潔さはとても重要なのです。人々が病院や医師、その他の医療専門家を選ぶときにはこの点が重要なカギとなり、実際の医療効果にも影響を与えると考えられます。

また12の原則の中には協力することが含まれます。協力は社会の健康を守る上で重要な要素です。個人的な偏見や欲望が社会の必要と対立するときに、そのバランスをとるための高潔さが問われます。

『倫理行動の原則』に述べられているように、『人々は周りの環境に頼っている』ため、私たちは環境を保護し維持する義務を負います。高潔であるということはこの義務を全うすることです。

私たちはお互いの価値を認め、すべての人が自分の意見を持ち、それを公の場で表現する自由を保障する必要があります。これは当たり前の態度のように聞こえますが、こと健康の問題になると個人的な信念が非常に強く他人の意見や信条を許容できなくなることがあるのです。個々人の価値を信じているというのであれば、他者にその機会を与え、その意見を聞く耳を持つべきであると高潔さは教えてくれます。高潔な人には、相手の言うことに同意できない場合であっても、相手を許容することが求められるのです。

『倫理行動の原則』のもう一つは、『社会の健康を守るために必要な基本的条件を見極め推進すること』です。

しばしば私たちは、重要な問題を無視して、末梢的で些細なことばかりを強調するあまり、公共の必要を個人的な好みに置き換えてしまうことがあります。このような個人的偏見の典型的なものは、飢饉や干ばつ、貧困、あるいは十分な食物の代用品が手に入らない状況にあっても、大豆製品、乳製品、ある種のオイルなどを避けるべきだと強調するような例です。高潔さは私たちが健康について教えたり実践したりするときに、バランスをもたらしてくれるのです。

## 高潔さと個人的な健康

社会に対する影響と同様、高潔さは個人的な健康にも影響を及ぼします。それは、誰でも持っているもろさや弱点を認めながらも、人間として備わっている価値と平等に扱われる権利について教えてくれるのです。もし私たちが自分の考えを他人に押しつけたりせず、また他人の意見に影響されて自己卑下に陥らない、といった高潔さを持ち合わせていたならば、今日見られる精神疾患の多くは未然の防ぐことができたことでしょう。

## 人の意見ではなく、原則に基づいて行動する

原則に基づいて行動する人にとって、高潔さは自分自身の動機に対する鋭い洞察をもたらしてくれます。人間には事実をゆがめようとする極端な傾向があり、特に自分の行動の場合にはそうなりがちなのです。

これは大昔から存在した問題でした。人の心は迷いやすいものです。世界で最も著名な芸術家であるミケランジェロは、『この世の無意味な雑事が、神を瞑想すべき時間を私から奪ってしまった』と書いています。高潔さは、私たちの思いを真実なもの、意味のあるもの、価値のあるもの、そして実在するものに集中させます。このような視点から健康を考えると、私たちが一番不誠実なのは自分自身に対してであることがわかるでしょう。

本当に自分自身に正直に向き合うならば、自分自身は、平凡で不真面目で気まぐれで愚かなことにとらわれているのに気がつくのです。高潔さは、私たちに根拠を吟味させ、自分自身の偏見を正直に認めさせるのです。また私たちに高い標準を要求し、私たちの信念を、思いつきではなく、証拠に基づかせるように命じるのです。つまり高潔さは私たちに偽善を否定するように導くのです。

## 高潔さは問題を回避させてくれる

いかに多くの依存症に苦しむ人々が、よくわかっていたはずの危険を無視したために依存症に陥ったことでしょうか。反対に幾千もの人々は高潔さを保っていたがゆえに、享楽に魅惑されながらも、ドラッグに手を出すことから守られたのです。

友だちの付き合いから、あるいは格好良く見せたくて、わかりきっているタバコの害から目を背けてきた喫煙者が、いったいどれほどいるのでしょうか。無知のために依存症になってしまうのと、意図的に真実を無視することには、大きな開きがあります。

初めてアルコールに手を出す人のうち7%がアルコール中毒になり、15%が身体的・性的虐待などアルコールがらみの問題や事故に遭うという事実を知っていれば、それほど有害な飲み物を提供する人には、はたして高潔さがあるのか、大いに疑問があります。

おそらく高潔さが最も試される領域は性の分野だといえるでしょう。今日、驚くべき数の片親の家庭や、不安感や精神的苦痛が見られるにも関わらず、メディアは夫婦間の貞操を軽視し、無責任なセックスをあおります。これは共同体としての高潔さの問題といえるでしょう。

1981年6月6日、アメリカ疾病管理予防センター（CDC）は新しい病気の最初の報告を発表しました。それは、後天性免疫不全症候群、略してAIDS（エイズ）という病気にかかった5人の青年の報告でした。このとき以来、何百万という人々がこの病気で亡くなり、さらに何百万という人々がウィルスを保有しながら生活しています。アフリカではエイズのために、1500万人以上の子どもが孤児になったのです。

エイズ患者の診察を拒否した医療者、患者に大きな負担を負わせた製薬会社、エイズの存在を否定した政府、血液製剤を制限して対応が遅れたために何百人もの感染者を出させてしまった政府機関など、エイズは、組織体の高潔さの何たるかを問いかける結果となりました。

さらにエイズは、個人の高潔さについても問いを投げかけました。意図的に感染を広げた人、性交時に予防手段であるコンドームを相手に使わせない人、また自分の信徒たちの夫婦生活について十分な知識がないまま干渉する聖職者などがいました。そして、ほとんど話題にされていないのが、未婚者や既婚者の乱れた行動に見られる高潔さの欠如です。

高潔さは生活の多くの場面に影響を及ぼします。私たちは職場や教会、社会的あるいは真面目な状況など、場合に応じて行動を変える傾向があるので、常に注意していなければ一貫した高潔さを維持することはできません。高潔さは、良い精神衛生、信頼できる人間関係、責任感のある確かな行動の基礎なのです。

## 憐れみと赦し

人は誰でも高潔さという標準を完全に満たすことができなかったことが、一度や二度はあるものです。その結果、誰かに大きな迷惑をかけたかもしれません。そんなとき私たちの心は、罪悪感と後悔の念で満たされるでしょう。

他人を赦すということは容易なことではありませんが、イエス・キリストは赦される神を体現されました。神の恵みを実例として地上で生き、そして死なれたからです。世の中の宗教はどれも、赦しは誰にでも与えられると教えます。ある宗教は難行苦行を要求しますが、キリストが求められるのはただ悔い改めだけなのです。

恵の賜物によって、神は憐れみと赦しを与られます。そしてここでも高潔さが必要になります。まず私たちは正直に、自分の過ちを認めなければなりません。こうして罪を告白するときに、恵みが平安と心の憩いをもたらします。全人的な健康を楽しむために、高潔さは不可欠なものです。

(トータルヘルスへの12の鍵——高潔さ)

子どもたちの成長にはゆとりが必要です。親のゆとりが子ども大きく成長させます。と同時に行くべき道を示す必要があります。幸せな道を歩んでほしいものです。そのためにいつもお祈りしています。

**「すべてのことを適宜に、かつ秩序を正して行うがよい」。I コリント 14:40**

石川三育保育園 園長 富浜宗言